

全国大会出場を報告した大和町出身の高田さん（右）



## 大 和町出身の高田さんが全国へ 全日本高等学校女子サッカー選手権大会

12月1日、大和町出身の高田真央さん（筑陽学園3年）が福岡県高等学校女子サッカー選手権で優勝し、橋本教育長へ全国大会出場を報告しました。同校は県大会準決勝では八女学院に3対2でインターハイ予選のリベンジを果たすと、決勝は9年連続で優勝の東海大学付属福岡高校と対戦。後半20分に先制すると相手の猛攻をしのぎ切り1対0で勝利しました。ゴールキーパーの高田さんは「チームのみんなと1日でも長くプレーできるよう頑張ります」と意気込みを語りました。

色や味などの品質を真剣に確認する買い付け担当者



## 品 質、出品枚数共に昨年を上回る 福岡有明のり初入札 入札総額は約22億円

12月14日、福岡有明のりの初入札会が福岡有明海漁連共販センターであります。昨年を上回る6333万枚が出品。全国から集まった232人の買い付け担当者は、海苔の色や味などを入念に確かめながら入札していました。大阪府から毎年買い付けにくる担当者は「昨年よりも海苔の品質が上がっている。等級が高いものほど特に品質の良さを感じる」と話しました。最高級の「神の手仕事」の原料となる海苔も3年ぶりに出品。入札総額は21億8468万円で昨年を上回る高値が付けられました。

心のこもった歌声を披露する柳河小の児童たち



## 白 秋の歌を次世代へ歌い継ごう 白秋音楽まつりに全小学校から658人が参加

11月12日、第46回柳川市小学校白秋音楽まつりが市民文化会館で開催されました。柳川が生んだ詩人、北原白秋の歌を次世代へ歌い継ごうと毎年開催している催し。今年は市内全14小学校から658人が参加しました。ステージでは、白秋が作詞した「すかんぱの咲くころ」や「赤い鳥小鳥」など、各学校2、3曲ずつを披露。柳河小3年の古瀬みゆさんは「緊張したけど練習の成果を出せた。白秋音楽まつりで歌えて幸せな気持ちになった」と笑顔を見せっていました。

合同解散式には婦人会員や来賓など約70人が出席した



## 1 20年以上の歴史に幕 市婦人会館と市地域婦人会連絡協議会が解散

12月2日、(一財)市婦人会館と市地域婦人会連絡協議会の合同解散式が同館で開催され、会員や来賓など約70人が出席しました。明治35年に柳河婦人会を結成し、昭和33年に設立した同館。環境衛生や地域防災、伝統文化の継承など幅広い分野で生活改善や地域活動を行ってきました。藤木利美子会長は「日々、ボランティア活動に励み、地域に根ざした婦人会活動は誇り。高齢化と後継者不足により苦渋の決断で解散となった」と話しました。会場では解散を惜しみ、涙ぐむ出席者の姿が見られました。



【上】光、音、自然が融合し、幻想的な世界を演出  
【下】たくさんの来場者で会場周辺は活気であふれた



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。  
【問】市企画課広報広聴係（☎ 0944・77・8425）

## クリスマスと沖端の文化の融合 YEGfes2025 クリスマスマーケット

12月6日と7日の2日間、沖端水天宮周辺や、からたち文人の足湯公園で「YEGfes2025 クリスマスマーケット」が開催されました。クリスマス仕様の舟舞台での音楽ライブや全長200mのナイアガライルミネーションなど沖端地区の文化とクリスマスを融合したイベントが行われ、2日間合わせて約1万8000人が来場しました。おじいちゃん、おばあちゃんと訪れた仲宗根丘沙さん（6歳）は、「イルミネーションがとてもきれい。また来年もみんなで来たい」と話しました。

児童たちは風船に人権の思いを込めた



## み んなを大切にできる地域に 矢ヶ部地域ふれあい広場 2025

大人から子どもまで地域住民が互いにふれあう「第20回矢ヶ部地域ふれあい広場2025」が11月16日に矢ヶ部小学校などで開催されました。歌やダンスなどの小学生の学習発表や三橋中学校吹奏楽部の演奏などが行われました。工コ風船を飛ばした6年生の児童たちは、「全学年で育てたひまわりの種を人権標語と一緒に風船につけた。知らない場所で花が咲き、工コ風船をきっかけに新しい友達ができるといいな」と話しました。